

地盤改良 洪水・排水対策 維持管理

13者が技術アピール

先端センタータイで4回目セミナー

【バンコク＝溝口和幸】

先端建設技術センター（A C T E C、五道仁実理事長）は30日、タイの首都バンコクで技術セミナーを始め

た。地盤改良、洪水・排水対策、維持管理の三つの分野で日本のインフラ管理者や建設会社、建設コンサル

タント、メーカーの13者が汎用（はんよう）性の高い技術や新技術、取り組みを

発表する。タイ政府、バンコク都、現地企業などの関係者が多く訪れる。初日は大鷹正人駐タイ日本国大使

が各者のパネルブースを回り、開会式であいさつした。セミナーはコロナ禍の影響もあって7年ぶり4回目の開催。31日まで在タイ日

本大使館で行う。現地のユーザーに日本の建設技術、ソリューションを紹介し、情報交換と交流を促すのが狙い。国土交通省、国際協力機構（JICA）タイ事務所、日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所、バンコク日本人商工会

議所が後援する。冒頭、五道理事長はこれまでの両国関係者の尽力に謝意を示した。その上で「厳しい日本の国土を支えている建設技術が、日本以

タイの政府、企業関係者などが聴講した（30日、在タイ日本大使館で）



上に厳しい一面もあるタイのお役に立てるのではないかと考え、セミナーを行ってきた。双方に有意義、有益なものになるよう願う」とあいさつした。

大鷹大使は各者のブースで説明を受けた内容を紹介し「（地盤の問題や都市インフラの整備など）タイと日本は共通事項がたくさんある。日本の技術は相当活用できると考えている。ぜひ検討していただきたい」と求めた。

初日は、王立かんがい局、運輸省道路局の幹部などが参加した。国交省の森下博之総合政策局公共事業企画

調整課長が基調講演を行った。展示ブースを訪れた大鷹大使は、無線遠隔操縦式の水陸両用ブルドーザーの性能や工法、コンクリート構造物のひび割れ自動検出

・定量評価システムなどの説明を受けた。

技術などを発表する13者は次の通り。

▽本州四国連絡高速道路会社▽首都高速道路技術センター▽長大▽大洋塗料▽大成建設▽エイト日本技術開発▽秩父ケミカル▽日之出水道機器▽青木あすなろ建設▽日本工営▽三信建設工業▽エコ・プロジェクト▽芦森工業、トクヤマエムテック。



出展者のパネルブースを回った大鷹大使（手前）

